

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

胆沢プライド体育祭 ～雨上がりのグラウンドに響く歓声～



焼石太鼓のオープニング演奏から始まった今年の体育祭でした。準備期間中、3年生のリーダーシップのもと、どの組団も競技や応援に力の限り取り組みました。迎えた当日、雨上がりのグラウンドでしたが、たくさんの笑顔と涙のある一日であり、全校生徒のもつ力の大きさを感じた一日となりました。

参観・応援していただいた保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。ひとまわり成長した子どもたちの姿を見ていただけたのではないかと思います。この後も、行事取組の成果を財産とし、子どもたちの力と合わせ、今年度の胆沢中学校を前進させていきたいと思っています。

本気の取組に拍手を贈ります

体育祭閉祭式に私から次のような話をしました。「とてもたくさんの一生懸命さを感じた体育祭でした。3年生を中心として胆沢中学校のもっている力を見せてくれました。一生懸命さは伝わるものです。時間を大切にしてお最初から本気で取り組んだ成果だったと思います。全校が一つになった経験を忘れずに大切にもち続けてほしいと思います。私にとっても特別な一日となりました。とても素晴らしい体育祭でした。」

当日までのリーダーの言葉の端々にも思いがあふれていた体育祭でした。1・2年生のみなさんは、3年生の思いをしっかりと受け止め、来年につなげてほしいと思います。

健康を学ぶ検診に

今年度も、内科・耳鼻科・眼科の各検診や身体測定などの保健行事を行っています。病気や何らかの異常がないかを見るスクリーニングとしての位置づけですが、結果を見るだけでなく健康を学ぶ機会にしたいところです。

検診を行う部分はどんなことが大事か、どこに気をつける必要があるのかなどについて、検診をきっかけに意識し、必要があれば改善取組を始めてほしいと思います。

部活動時間の延長

部長会の要請を受け、活動時間の延長を開始しました。大会やコンクールに向けて、一人ひとりが、技術の向上や完成度の向上をめざしてほしいと思います。

進路を考える その1

中学生時代、大きな話題となるのが進路です。今回から国実施の中学生対象の調査結果を見て、私が思ったことを紹介していきます。

調査1 どのような進路を希望しているか

・進学希望	98.4%
・就職希望	0.5%
・家業	0.1%
・未定	1.0%

調査2 決定時期

・小学校時	12.6%
・中学1年	14.4%
・中学2年	27.2%
・中学3年	45.8%

調査3 進学希望の内容

・普通科の高校	68.1%
・専門学科の高校	24.7%
・総合学科の高校	4.8%
・高等専門学校	2.1%
・専修学校、他	0.3%

全国の中学生のほとんどが、高等学校への進学を希望していますが、決定時期にはばらつきがあるようです。早い時期に目標を定めている生徒も多いのだと感じました。

最終的な決定は3年生の時になりますが、具体性をもつためにも、その時その時の希望先(志望先)を確認しておくことは、とても大切だと思います。